

日本労働年鑑 第26集 1954年版

The Labour Year Book of Japan 1954

第一部 労働者状態

第四編 賃金と労働条件

第一章 賃金

第六節 賃金不払の状況

一九五二年における賃金不払は、件数八万〇四三一件、金額三三四億四〇五〇万四八二一円にのぼり、前年にくらべて件数では二八・六%、金額では一六・五%増加しているが、前年度がその前の年にくらべて件数では四四・一%も多かつたのであるから、五二年における中小企業の不振のほどがわかるであろう(第107表)。

つぎに賃金不払の状態の月別推移をみると(第108表)、一月以降五月までは六万台、七月以降は七万台、十二月は八万台と、じりじり増加し、経済危機がゆるやかながらも次第に深まっていることを示している。しかも、恐慌がいわゆるパニックのように爆発的様相をとらず、慢性的な状態になっていることのあらわれだといえよう。

原因別に発生件数をみると(第109表)、「その他」をのぞいて一番多いのが「その他の経営不振」の三九八三件で全体の二二・三%を占め、つぎが金融難の二五七五件一四・四%、売掛代金の回収難の二一二〇件一一・九%であり、その原因の大部分が前年と同様、恐慌に関連している。

日本労働年鑑 第26集 1954年版

発行 1953年11月20日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

****年**月**日公開開始

■←前のページ 日本労働年鑑 1954年版(第26集)【目次】次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)